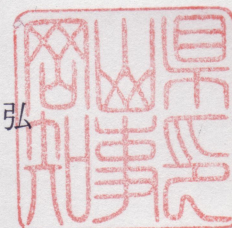


## 知事意見書

平成20年 9月29日

津山市長（津山ブロックごみ処理広域化対策協議会）  
桑山 博之（会長 桑山博之） 殿

岡山県知事 石 井 正 弘



（仮称）津山・英田圏域クリーンセンター建設事業に係る環境影響評価実施計画書について、関係市町長及び関係地域住民並びに岡山県環境影響評価技術審査委員会の意見を勘案し、慎重に検討した結果、意見は次のとおりであるので、環境影響評価準備書に反映させるとともに、環境影響評価調査等の結果に基づき、当該事業に係る環境影響をできる限り回避し、又は低減するなど環境保全上必要な措置について特段の配慮を願いたい。

### 記

#### 1. 事業計画について

- （1）施設の能力、配置等の詳細を作成し、それに合わせて環境影響評価調査等を実施すること。
- （2）廃棄物焼却炉について、地球温暖化防止の観点から、効率の良い発電等熱回収システムを構築し、二酸化炭素の排出削減に努めること。

#### 2. 対象事業実施区域及びその周囲の概況について

対象事業実施区域及び周辺地域の概況について、詳細把握に努めること。

#### 3. 調査、予測及び評価の手法について

- （1）事業計画の詳細を作成するとともに、調査、予測及び評価の手法について全般的に見直し・再検討を実施すること。
- （2）関連する事業についても計画を明らかにし、必要に応じ、事業実施区域に与える環境影響について調査、予測及び評価を行うこと。関連する事業についての環境影響評価の実施は、必要に応じて検討すること。

#### 4. 環境保全措置について

事業内容に応じた当該区域内の環境保全計画の具体的な方針を記載するとともに、その詳細（緑化、植栽等）を明らかにすること。

#### 5. その他

事業の実施にあたり、周辺住民の理解と協力が得られるよう継続的な意思疎通をはかること。

## 指 摘 事 項

### 1. 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持

#### (1) 大気質

- ① 事業計画を踏まえ、予測及び評価等を行うこと。
- ② 施設供用時の環境影響評価項目として、必要に応じて一酸化炭素の追加について検討すること。

#### (2) 騒音・振動

施工時の環境影響評価項目として、必要に応じて低周波音の追加について検討すること。

#### (3) 悪臭

廃棄物運搬車輛の影響についても検討すること。

#### (4) 水質

- ① 水処理計画を作成し、排水系統を分かりやすく記載すること。
- ② 最終処分場の構造等を明らかにするとともに、安全対策や排水処理について明らかにすること。

#### (5) 水底の底質・地下水

事業計画を踏まえ、地下水等について十分な調査と対策を行うこと。

#### (6) 地形・地質、地盤、土壌

事業計画を踏まえ、地質、土壌等について十分な調査と対策を行うこと。特に、調査地点については、地質調査及び工事計画を踏まえて適切に設定すること。

### 2. 生物の多様性の確保

- ① 既に実施された環境影響評価書等を参照するとともに、学識経験者等の意見や最新の知見等を十分に取り入れながら、調査、予測及び評価の手法について広く見直すこと。
- ② 動植物について、十分な調査を実施し、事業実施区域周辺を含めた自然環境の保全のために、道路や水路の工法に配慮すること。また、必要に応じ、ビオトープ等ミティゲーションの実施も考慮すること。

### 3. その他

#### (1) 文化財・天然記念物

事業実施区域及びその周辺には、多くの遺跡等が存在するので、工事に際しては地元教育委員会等と十分に連携を取りながら、遺跡等の保護に努めること。

#### (2) その他

土砂崩れ等災害の防止に配慮すること。